# 大山崎瓦窯跡

経過 大山崎瓦窯跡は、8世紀末から9世紀前半にかけて、 平安京造営に必要な瓦を生産した遺跡です。

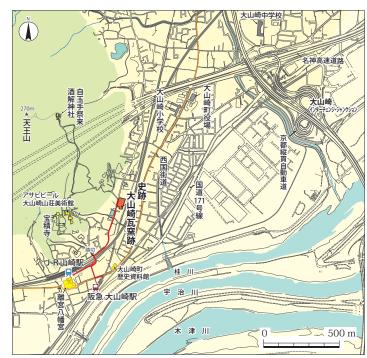
平成 16 年(2004)の宅地造成にともなう発掘調査でその存在が初めて明らかとなりました。関連する史料はなく、当時の名称はわかりませんが、地名から「大山崎瓦窯跡」と呼んでいます。平安京の成り立ちを考える上で特に重要な遺跡として、平成 18 年 1 月に国の史跡に指定されました。

**主な特徴** 全体で、12基の瓦窯を発見しています。これらは、位置関係から3つに区分され、便宜上A~Cの各群に区分されます。A群・B群は各5基、C群は2基で構成されています。配置は規則的で、A群とB群は「L」字状に、A群とC群は一直線上に位置します。窯の規模は、全て統一されており、生産量が一定になるように規格化されています。

整然とした配置や規格性は、大規模な瓦の生産地として計画的に設計されたことを示しています。また、十分な準備を行ったうえで、平安京が造営されたことをうかがわせます。



⑩ 大山崎瓦窯跡の窯の配置(遺構平面図)



⑪ 史跡 大山崎瓦窯跡の位置

〔所在地〕京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字白味才 40 番

[開園] 8:00~(夜間は施錠)

※施錠時間は季節によって異なります。

詳しくは、大山崎町ホームページをご覧ください。

#### [アクセス]

JR 東海道線 「山崎駅」・阪急京都本線 「大山崎駅」より徒歩8分。

※駐車場は、ございません。

公共の交通機関をご利用ください。

#### 〔ご利用・ご見学に際して〕

花火などの火遊び・たき火・バーベキューは禁止しています。 ペットの散歩は、マナーをお守りください。

## 

大山崎町教育委員会 生涯学習課 文化芸術係

> http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp 〒 618-8501 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目 3 TEL 075-956-2101 (代表)

令和2年(2020)7月発行





① 実物大による5号窯の陶板表示(長さ4.6 m・幅3 m) 東から



② 5号窯発見の様子 北東から



### 瓦窯公園の見どころ

遺構は埋め戻して地中に保護してあります。その上に窯などを表示しています。

公園内は5基を1群として、A群・B群合わせて10基の窯が存在します。5号窯は発見した実物大の写真を陶板で表示しています。6号窯は、凹んだ状態にしており、将来の体験学習で基礎部分を復元する予定です。このほかの窯の位置には、オタフクナンテンを植えています。排水溝と窯前面の作業場・建物跡は着色で表示しています。

10 基の窯が L 字状に整然と配列した様子は、平 安京造営に伴う瓦生産が、大規模で計画的に行っ ていたことを示しています。

西側の広場からは、瓦窯全体が見下ろせます。 また、京都盆地・淀川流域が一望でき、比叡山か ら生駒山まで見渡せます。



③ 四阿と説明板 屋根には復元した瓦を使用 南西から



④ A 群瓦窯の瓦生産のイラスト <sub>北東から</sub>(画:たなべたい)



⑥ 遺構表示の様子 南東から



⑦ 瓦窯発見の様子 南から



↑⑧ 遺構表示の様子 西から

↓ ⑨ 広場からの眺め 西から

